

研究専攻（専門領域）		文化環境研究専攻（文化人類学）		学籍番号	06CS028
氏名	崔 由俐	ローマ字	CHOI Yuri	国籍 (留学生)	韓国
修士学位論文名	世代交代による在日コリアンのアイデンティティ －在日朝鮮人の実態調査でみる生活事情と思想－				
提出年月日	2009年1月13日		指導教員	三浦 敦	
体裁 (論文)	44頁（1頁文字数1600字）		言語	日本語	
別冊添付資料等					
キーワード	アイデンティティ コリアン 朝鮮人 韓国人 GHQ 国籍変更				
<p>在日同胞社会は韓半島の南北分断により、内部的に民団系と朝総聯系が日本社会内で対立してお互い壁があり、外部的には就職、選挙、社会生活にあつての差別により、日本社会内で孤立している。現在、在日の歴史も深くなり、在日2, 3世が増加することにより、日本社会に対し同化する傾向が強くなっている。</p> <p>在日コリアン研究に欠かせないテーマが、歴史問題、差別問題、法的地位、帰化などであり、今まで在日コリアン、つまり在日韓国・朝鮮人に関する論文や、本は数多く書かれている現状であるが、在日韓国人と在日朝鮮人を分類しているのは未だ見つからない。在日韓国・朝鮮人は同じ民族であり、同じ歴史を歩み、同じ状況（政治的な状況を除いて）のなかにあるため、同じアイデンティティを持っているはずであるが、未だ朝鮮人として生きている人は何らかの理由や民族的な強い縄張りがあると考えられる。本稿では在日韓国・朝鮮人の共通の問題からはじめ、在日朝鮮人の基本的な生活背景を探り、世代交代による彼らのアイデンティティの定義を近づく。</p> <p>朝鮮籍の場合、あくまで国籍の記載は単なる便宜上のものに過ぎず、本人の出身地を表す以外のものではない。それに対し韓国籍とは、政府が発行する国籍証明書の提示に基づいて、韓国の国籍を示すものとされている。朝鮮籍の者が、必ずしも北朝鮮という国家を支持しているわけではない。もちろん、北朝鮮を支持する朝鮮総連系の者もいる。北朝鮮を支持する人がいる一方で、北朝鮮を支持するわけではないが、韓国も積極的に支持しないということの表明として、かつての朝鮮籍を維持している者もいる。</p> <p>現在、在日コリアンにとって国家とは、人によっては、かつての「朝鮮」であったり、「朝鮮民主主義人民共和国」（北）であったり、あるいは「大韓民国」（南）であったり、さらには現に暮らしている「日本」であったりもする。在日コリアンは、日本と朝鮮半島という二つの国や民族、出自や言語、習慣や文化などを混在させている。</p> <p>本論文では、在日朝鮮人の現状を探るための方法として、毎年朝鮮籍から韓国籍に国籍を変更する人の統計と在日朝鮮人100人を対象にした調査の結果を基に在日朝鮮人の独特のアイデンティティと最終的には「彼らが思う祖国とは何か」など韓国に対する意識や思いを明らかにしようと試みた論文である。</p>					